



TAKE OFF press

TAKEO Future Frontier

【校是】質実剛健 報恩感謝

佐賀県立武雄高等学校

校長通信 NO.5 R5.06.01

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp



学校 HP

“考えることをしない” という誘惑 —君はシモーヌ・ヴェイユを知っているか—

今回はシモーヌ・ヴェイユというフランスの哲学者の話をしましょう。

1931 年、パリの高等師範学校を出て、哲学教師となったヴェイユ。彼女は、25 歳のある日、突然 1 年間の休職を願い出ました。ある工場に一人の女工として「就職」したのです。

彼女はそうして飛び込んだ工場での日々を『工場日記』として認^{したた}めました。

そこに書かれている内容は決して珍しい風景ではありません。機械の部品のようになって働く労働環境も、そこで疲弊し人間性をすり減らしていく有様も、多かれ少なかれ、多くの大人たちが経験していることです。

とはいえ、そんな想定内と思っていた光景も『工場日記』を読むと、実はきわめて非人間的であり、労働者の人間性を損なうものであるという真実が迫力をもって立ち上がってきます。

人生の貴重なある一定の時間を「1 時間に部品を 600 個つくる」ことに向けさせられていること、

そしてその時間がわずかな金銭でしか支えられていないこと…。彼女は強烈な無力感を抱いたのです。

「こういう生活がもたらすもっともつよい誘惑に、わたしもまた、ほとんどうちかつことができないようになった。それは、もはや考えることをしないという誘惑である。それだけが苦しまずにすむ、ただ一つの、唯一の方法なのだ」



ちくま学芸文庫表紙 2014 発行

思考停止の恐怖。彼女のつぶやきは我々にこんなメッセージを投げかけています。

人は作業に組み込まれ、創造性を失った時、人間性を失います。“考えないという誘惑”に負けてしまうことは何と恐ろしいことでしょう…。

皆さんは「労働」ならぬ、「学び」というフィールドにいらっしゃるわけですが、勉強が“作業”となっていないでしょうか。“考えない誘惑”に襲われてはいないでしょうか。それは人間性の喪失であり、あなたがあなたでなくなってしまうことになると肝に銘じておかねばなりません。

賢明なる武高生の皆さん。高校総体が終わりました。梅雨が来ます。暑い夏が来ます。覚悟を決めて、自分を見失わず、“作業”ではない、“思考”を伴った勉強に励んでください。

たましぎ農園リーフレット

日本の“農”に興味ある人へ耳寄り情報 —お米と味噌を送ります—

筆者の知り合いの知り合いで恐縮ですが、新潟県上越市に移り住み、就農した^{しぎ}嶋谷幸彦さんという方が“たましぎ農園”を営んでおられます。嶋谷さんは、東京の出版社を辞め、縁のなかった標高 300m の中間山間のその地に根を下ろし、農業を始められました。

嶋谷さんは、海外青年協力隊で東アフリカのウガンダ共和国へ行った時、主食のバナナこそがウガンダの循環型農業を守っていることに衝撃を受け、「それは日本で



いえばお米だ、お米を作ることが自然環境を守ることにつながる」という考えに至ったそうです。

さて、その“たましぎ農園”さんが、食と農に関心のある大学生に対して、最大4年間の“奨学めし&みそ”支給を行っておられます。

ただし、①一定期間(7日間以上)農作業を手伝うこと(宿泊施設・旅費補助あり)②給付された米と味噌で自炊することが条件。なかなかユニークな取組です。

皆さんの中で、大学に入ってこの“奨学めし&みそ”を希望してみたいという人はいませんか。興味のある人は校長室まで話を聞きに来てください。待ってます！

自転車のヘルメット着用が努力義務化

4月から道路交通法の改正でヘルメット着用の努力義務が自転車に乗る全ての人に適用されることになりました。その法律には「自転車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない」(第63条の11)と書かれています。いわゆる努力義務といわれるもので、守らなかったからといって罰則が科されるものではありません。

しかし、罰則がないからヘルメットを着用しなくてもよいということではありません。その一番の理由は着用時と非着用時では致死率に大きな差があるからです。



警視庁によれば、自転車事故で死亡した人の7割が頭部に致命傷をおっており、また着用と非着用の致死率の差は2.3倍もあるそうです。

そして何よりも筆者が感じていることは、「着用しない」という一見見た目は同じ現象だとしても、その背景が「努力中」なのか、「無努力」なのかで全く違うのではないかということです。

「努力中」の人は“今、注文しているんだけど品薄で手に入らないんですよね”みたいな感じでしょうか。「無努力」の人は“どうぞかぶらなくなったっていいんでしょ”となんのアクションも起こしていない人。後者のタイプの人がたくさんいるとしたら、、、。同じ“かぶらない”現象でもその中身は雲泥の差があります。

こうした中、最近かわいらしいヘルメットを購入された先生もいます。生徒さんの中には中学校時代のヘルメットを着用している人もいます。それぞれかっこいい生き方だなと思います。

いじめ見逃しゼロを目指して

5月23日(火)高尾兼利氏(西九州大学教授・心理学 写真)から「人は生きていくうえで『影』を意識することが大事」という話を聞きました。



自分の中の人間的な小ささ、弱さ、劣等感…。人間誰もが持っている『影』の部分。とても難しいことですが、それを遠ざけたり、ないものにしたりするのではなく、しっかり受け止めながら、いろいろなことに挑戦したり、失敗したりすることが生きるといことなのだなと感じました。

“いじめ”や“体罰”も人間の『影』の部分に係る行為ではないかという話もありました。

特に“いじめ”に関しては「やめろという勇気」「嫌だという勇気」「謝る勇気」「相談する勇気」が必要です。最後の「相談する勇気」については、今や「いじめられた側にも原因があるのではないか」という理屈は全く通りません。100%被害者に寄り添わねばならない時代です。

もし皆さんの中に、人間関係で苦しい、きついという思いをしている人がいたら、安心してメールや手紙でもいいので、保護者、学校、友人、誰でもいいので相談してください。

【当面の主な予定(6月前半)】

2日(金)英検1次・耳鼻科検診(1年)
3日(土)土セミ(1年)
駿台模試(2年)
進研マーク(3年)
5日(月)月曜セミ
7日(水)内科検診(1年)
8日(木)耳鼻科検診(1年)
9日(金)スクールカウンセラー講話
10日(土)進路講演・保護者会(3年)
12日(月)月曜セミ・眼科検診(全)
15日(木)耳鼻科検診(2・3年)